



顧客責任

取り組み事例

ここでは、よりお客さまに近い農業・園芸関連製品について、当社グループの取り組みを紹介しています。

持続可能な農業の実現に向けた製品開発

住友化学のアグロ事業部では、新しい作用性を持つ新規剤の開発・普及ならびに今後の農業構造の変化を見据えた「持続可能型農業技術・製品の開発・新規開発」「スマート農業に対応した製品の開発・拡充」「バイオラショナル製品の開発と普及」に重点的に取り組んでいます。

● 水稻除草剤分野

スマート農業において、作業の省力化・効率化のため、農業用ドローンの活用が進んでいます。当社は、水稻除草剤分野でドローン散布に適した自己拡散性を持つ新製剤「FG剤」のシリーズ拡充に努めています。



「FG剤」製品とドローン散布の様子

● 肥料分野

被覆肥料は、肥料成分の表面を樹脂などで覆うことにより、土壌中における肥料成分の溶出量の調整を可能にした肥料です。当社は、土壌中において高い分解性を有する樹脂被膜で構成される被覆肥料の開発により、環境負荷低減に貢献します。

● バイオラショナル・ボタニカル分野

住友化学グループでは、天然物由来などの微生物農薬、植物成長調整剤、根圏微生物資材や、それらを用いて作物を病害虫から保護したり、作物の品質や収量を向上させたりするソリューションを「バイオラショナル製品」と定義しており、またボタニカル(植物由来)製品の開発にも積極的に取り組んでいます。当社は、バイオラショナル・ボタニカル分野において、持続可能な農業に貢献する製品の開発を一層推進します。



天然物由来製品シンボルマーク「Natural Products」



®住友化学の登録商標

「Natural Products」は、住友化学と、グループ会社の住友化学園芸株式会社、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社および住化テクノサービス株式会社が販売する天然物由来製品に使用する共有のシンボルマークです。

SDGsへの取り組みや環境意識の高まりを受けて、農業や園芸における病害虫防除から家庭での害虫駆除、衛生管理にいたるまで、あらゆる場面で環境負荷が低い製品が求められるようになっていきます。住友化学グループは、バイオラショナルやポタニカルなどの天然物製品を幅広く展開するリーディングカンパニーであり、同製品群を日本国内の消費者により広く知っていただくため、「世の中に、天然のPowerを。」をスローガンに統一的なブランディング活動を進めています。

■ グループ各社が販売する主な天然物由来製品

会社名	分野	主な天然物由来製品	
住友化学園芸株式会社	家庭園芸分野	ベニカナチュラル®スプレー カリグリーン アーリーセーフ	パイベニカVスプレー 不快害虫スプレー
住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社	家庭用殺虫剤分野 (ホームプロダクツ分野) シロアリ防除分野 (TCO分野) 業務用殺虫剤分野 (PCO分野)	殺虫ミスト 殺虫ドライエアゾールガントナー® 天然でんねん ビレトリン40FL「SES」	ハチ・アブ・ブユ用殺虫スプレー 天然ビレトリン ミラクン®PY 除虫菊エアゾール「SES」など
住化テクノサービス株式会社	天敵昆虫分野	テントウムシ	ヒメハナカメムシ
住友化学 アグロ事業部	農業分野	ゼンターリ顆粒水和剤 エスマルクDF など	フローバックDF

Natural Products | 住友化学株式会社

<https://www.sc-natural-products.com>



お客さまとのコミュニケーション

● 情報発信ツールの充実

農業に関するさまざまな情報提供を通じた農業生産者の支援を目的に、住友化学のアグロ事業部が2002年にウェブサイト「i-農力」を開設しました。また、ウェブサイト以外でも、平易で分かりやすい製品情報を提供するため、YouTubeを通じた動画の配信やFacebookの投稿などソーシャルメディアによる情報発信も行っています。

当事業部では、住友化学の農薬や肥料、植物成長調整剤製品に関するお客さま相談室を設置し、「お客さまの立場に立った迅速・適切・真摯な対応とコンプライアンス精神」を基本姿勢に業務を進めています。

さらに、園芸の相談にも対応し、相談員はいつもお客さまに寄り添って当社製品を正しく効果的に使用していただけるように努めています。

住友化学 i-農力

<https://www.i-nouryoku.com/index.html>

住友化学 アグロ事業部YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/Uck0GEjn4LXD7dxEf9uSfnlw>

住友化学 アグロ事業部Facebookページ

<https://www.facebook.com/住友化学アグロ事業部-101167691634705/>

住友化学園芸株式会社では、さまざまな園芸参加者に分かりやすく情報を届けるために、ウェブサイトの充実を図っています。また、YouTube配信も開始し、商品情報動画だけでなく、希釈剤の作り方や適用表の見方などのHow To動画、トマトやバラの栽培方法などを分かりやすく解説した「ガーデンドクターTV」なども発信しています。お客さま相談では、従来の電話相談やメール相談に加え、2020年4月からはどなたでもいつでも簡単に植物の病害虫を診断できるAI画像診断ツール「ガーデンドクター®AI (アイ)」をウェブコンテンツとして開始しました。



住友化学園芸株式会社ウェブサイト

<https://www.sc-engei.co.jp>

住友化学園芸株式会社 YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/c/scengeich/playlists>

住友化学園芸株式会社 ガーデンドクター®AI

<https://www.sc-engei.co.jp/gardendoktor.ai>



顧客責任

● ユーザービリティの向上

住友化学園芸株式会社では、園芸を楽しむユーザーが多様化していることから、顧客相談対応の強化や製品容器の改良などのサービスの充実を図っています。

「ベニカXネクスト。スプレー」

マーケティング調査によりお客さまのお悩みをリサーチし、それを解決するための商品開発にも取り組んでいます。「ベニカXネクスト。スプレー」では連続で噴霧しても疲れにくい軽い引き心地のロングトリガーを開発しました。

住友化学園芸株式会社 ベニカXネクスト。スプレー

https://www.sc-engei.co.jp/sp_contents/en/201902/benicaXnext



「草退治メガロング®シャワーGT」

「草退治メガロング®シャワーGT」では人間工学の専門家との共同研究により、使う人の負担を軽減し、力の弱い人でも使いやすく、疲れにくい容器を開発するなど、ユーザービリティの向上に努めています。

住友化学園芸株式会社 草退治メガロング®シャワーGT

<https://www.sc-engei.co.jp/guide/detail/5318.html>



● 安全な農産物の提供

住化農業資材株式会社では、JGAP*認証農場として、消費者に安心・安全な農産物の生産・販売を実践しながら、持続可能な農業の推進に貢献しています。

※JGAPはJapan Good Agricultural Practice(日本の良い農業のやり方)の略です。

■ JGAP認証農場一覧

農場名	登録番号	所在地	ASIAGAP/JGAPの版	品目	認証有効期限
住化農業資材株式会社 ファーム長野	200000045	長野県	JGAP青果物2016	(栽培・収穫・取扱い) いちご	2024年3月21日
住化農業資材株式会社 営業本部 営業業務部 ファームおおいた	440000052	大分県	JGAP青果物2016	(栽培・収穫・取扱い) トマト、ミニトマト	2024年4月23日